



平成 17年 12月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)

平成 17年 5月 12日

上場会社名 昭和電工株式会社

上場取引所 東
本社所在都道府県 東京都

コード番号 4004

(URL <http://www.sdk.co.jp/>)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 高橋 恭平

問合せ先責任者 役職名 広報・IRグループ長 氏名 佐藤 勝信

TEL (03) 5470 - 3235

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
法人税等の計上基準等に一部簡便的な方法を採用しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

連結 (新規) 0社 (除外) 2社

持分法 (新規) 0社 (除外) 1社

2. 平成17年 12月期第1四半期の財務・業績の概況(平成 17年 1月 1日 ~ 平成 17年 3月 31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (注) 百万円未満の端数は四捨五入して表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年 12月期第1四半期	190,245	13.0	12,492	23.2	10,366	43.7	13,130	189.3
16年 12月期第1四半期	168,357	1.2	10,137	37.7	7,213	53.7	4,538	242.1
(参考)16年 12月期	740,706		52,071		38,912		7,596	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
17年 12月期第1四半期	11.49	10.60
16年 12月期第1四半期	3.99	3.72
(参考)16年 12月期	6.66	6.35

売上高、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年 12月期第1四半期	939,670	189,844	20.2	166.17
16年 12月期第1四半期	956,096	172,244	18.0	151.37
(参考)16年 12月期	943,908	177,701	18.8	155.53

3. 平成17年 12月期中間期の連結業績予想(平成 17年 1月 1日 ~ 平成 17年 6月 30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
中間期	388,000	25,500	20,000	16,500

平成17年3月15日に発表した予想数値を修正しております。当該内容につきましては、本日付で「平成17年12月期中間業績予想の修正について」により公表しております。なお、原油価格等不透明要素が多いことから、平成17年12月期通期業績予想の修正は行っておりません。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

4. 経営成績（連結）の進捗状況、財政状況（連結）の変動状況に関する定性的情報等

(1) 営業の概況

当社グループは中期経営計画「プロジェクト・スプラウト」で掲げた成長戦略事業の育成を進めるとともに、事業構造改善策とコストダウン施策を引き続き推進しました。この結果、平成17年第1四半期（平成17年1月1日から3月31日まで）の売上高は、1,902億45百万円（前年同期比13.0%増）、営業利益は124億92百万円（前年同期比23.2%増）、経常利益は103億66百万円（前年同期比43.7%増）となりました。第1四半期純利益は、株式会社エス・ディー・エス バイオテック株式の株式譲渡益等による特別利益37億85百万円を計上したこと等により131億30百万円（前年同期比189.3%増）となりました。

セグメント別の第1四半期（平成17年1月～3月）の営業概況は次のとおりです。

石油化学セグメントは、オレフィン事業、有機化学品事業とともに、引き続き旺盛な需要を受け高い稼働率を維持するとともに、逼迫した需給と原料価格の上昇を反映し、販売価格が上昇し増収となりました。昭和高分子株式会社の合成樹脂事業は販売価格が上昇し小幅の増収となりました。

これにより、当セグメントの売上高は666億92百万円（前年同期比18.5%増）、営業利益は52億54百万円（前年同期比53.0%増）となりました。

化学品セグメントは、ガス・化成品事業では、堅調な需要を背景にアクリロニトリル、アンモニアがそれぞれ増収となりましたが、酸素・窒素・水素ガス事業を、前年7月に東京ガス株式会社グループとの合併会社であるTG昭和株式会社（持分法適用）に移管したため、前期並みの売上となりました。特殊化学品事業はアミノ酸の出荷が軟調に推移しましたが、合成ゴム「ショウブレン®」の出荷が増加し小幅の増収となりました。株式会社エス・ディー・エス バイオテックの農薬事業は小幅の増収となりました。

これにより、当セグメントの売上高は195億95百万円（前年同期比3.4%増）となり、営業利益は前年同期に実施したアンモニアの長期定期修理が当四半期にはなかったこともあり13億28百万円（前年同期比178.4%増）と増加いたしました。

電子・情報セグメントは、ハードディスク（HD）事業においては堅調な出荷が続くとともに、昭和電工 HD トレース社（台湾）を前年7月より連結子会社としたため増収となりました。一方、電子部品業界の在庫調整の影響を受け、化合物半導体は出荷量が大きく減少し、半導体向け特殊ガスも減収となりました。レアアース磁石合金は出荷量が増加し増収となりました。

これにより、当セグメントの売上高は297億82百万円（前年同期比14.4%増）、営業利益は35億34百万円（前年同期比5.5%減）となりました。

無機材料セグメントは、アルミナ製品の価格が上昇し、人造黒鉛電極も原料高を受け国内、米国ともに価格が緩やかに上昇しました。

これにより、当セグメントの売上高は143億86百万円（13.4%増）、営業利益は19億59百万円（68.4%増）となりました。

アルミニウム他セグメントは、アルミ地金は数量、販売価格ともに上昇し、ショウテック、アルミニウム缶はそれぞれ数量増により増収となり、圧延品、押出・機能材ともに小幅の増収となりました。熱交換器事業は自動車向け出荷が低調に推移しました。

これにより、当セグメントの売上高は597億90百万円（前年同期比9.9%増）、営業利益は20億7百万円（前年同期比33.7%減）となりました。

（2）財政状態

（前期末（平成16年12月31日現在）との比較を行っております）

当第1四半期末の総資産は、前期末比42億37百万円減の9,396億70百万円となりました。有利子負債は、引き続き削減に努めた結果、前期末比113億21百万円減の4,911億11百万円となりました。当第1四半期末の株主資本は、主に利益剰余金の増加と前期の配当支払いにより、前期末比121億43百万円増の1,898億44百万円となりました。

（3）当四半期に実施した主な施策

（化学品）

・農薬事業子会社のMBO方式による譲渡

当社は、3月、農薬事業の連結子会社である株式会社エス・ディー・エスバイオテックを、MBO（マネジメント・バイ・アウト）方式により同社の現経営陣とみずほキャピタルパートナーズ株式会社で構成される新経営陣に譲渡いたしました。

（電子・情報）

・HD事業における能力増強

当社は、携帯音楽プレーヤー等に用いられる小径HDを中心とする旺盛な需要に対応するため、生産設備の新設および工程改善により、HDの生産能力の増強を月産305万枚増強し、月産1,375万枚とすることを決定いたしました。増産に関する設備投資額は約120億円であり、平成18年3月までに順次稼働させる予定です。

(無機材料)

・低炭素フェロクロム合弁事業を解消

当社は、サマンコール社(南アフリカ共和国)および丸紅株式会社との合弁事業である低炭素フェロクロム製造会社「ミドルバーグ・テクノクロム社」の当社保有株式をサマンコール社に譲渡し、低炭素フェロクロム事業から撤退することを決定いたしました。これにより、当社の金属事業の再構築は完了いたします。

・高性能燃料電池用セパレーターを開発

当社は、一般家庭や自動車、モバイル機器等の電源として活用が期待される固体高分子型燃料電池の主要部材となる高性能「カーボン樹脂セパレーター」を開発いたしました。従来製品と同等の基本性能に加え割れにくく、さらには、安価な供給が可能です。これは、当社の有する無機化学(導電性が10倍高い黒鉛の開発)と有機化学(バインダー樹脂の選択と加工技術の確立)の融合の成果による製品です。

(アルミニウム他)

・日本アマゾンアルミニウム株式会社の株式譲渡

当社は、1月、日本アマゾンアルミニウム株式会社の当社保有株式の全てを三井物産株式会社へ譲渡いたしました。日本アマゾンアルミニウム株式会社はブラジルにおけるアルミニウム製錬事業の日本側投資会社であります。

・昭和アルミビューテック株式会社の解散

当社は、2月、アルミ押出事業の連結子会社である昭和アルミビューテック株式会社を平成17年中に解散する方針を決定いたしました。尚、同社の解散に関しましては、平成16年12月期決算において引当金を計上しております。

要約連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第1四半期末 〔 17.3.31 〕 現 在	前期末 〔 16.12.31 〕 現 在	増 減
(資産の部)			
流動資産			
現金及び預金	32,395	29,627	2,768
受取手形及び売掛金	137,378	150,275	12,897
たな卸資産	70,655	68,736	1,918
その他	42,216	39,268	2,949
計	282,645	287,906	5,262
固定資産			
有形固定資産	518,055	518,371	316
無形固定資産	25,408	25,956	548
投資その他の資産	113,563	111,675	1,888
計	657,026	656,001	1,024
資 産 合 計	939,670	943,908	4,237
(負債の部)			
流動負債			
支払手形及び買掛金	113,297	120,456	7,158
短期借入金	99,108	100,146	1,038
コマースルペーパー	333	325	8
1年以内返済予定の長期借入金	90,768	89,314	1,454
1年以内償還予定の社債	42,384	44,384	2,000
その他	46,805	47,485	680
計	392,695	402,109	9,414
固定負債			
社債	53,430	50,430	3,000
長期借入金	205,088	217,834	12,746
退職給付引当金	8,903	8,879	23
その他	43,889	41,807	2,082
計	311,310	318,951	7,641
負 債 合 計	704,005	721,060	17,055
(少数株主持分)			
少数株主持分	45,821	45,147	674
(資本の部)			
資 本			
資本金	110,451	110,451	-
資本剰余金	11,089	11,089	0
利益剰余金	28,007	18,316	9,691
土地再評価差額金	33,280	33,280	-
その他有価証券評価差額金	9,199	7,842	1,358
為替換算調整勘定	2,109	3,213	1,104
自己株	74	64	10
資 本 計	189,844	177,701	12,143
負債、少数株主持分及び資本合計	939,670	943,908	4,237

要約連結損益計算書

(単位：百万円)

項 目	当第1四半期 〔 17. 1. 1から 17. 3.31まで 〕	前第1四半期 〔 16. 1. 1から 16. 3.31まで 〕	増 減
売 上 高	190,245	168,357	21,889
売 上 原 価	156,484	137,823	18,661
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	21,270	20,397	873
営 業 利 益	12,492	10,137	2,355
営 業 外 収 益	1,632	1,078	554
営 業 外 費 用	3,758	4,003	245
経 常 利 益	10,366	7,213	3,153
特 別 利 益	3,785	1,934	1,851
特 別 損 失	399	689	290
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	13,752	8,458	5,294
法 人 税 等	89	3,591	3,502
少 数 株 主 利 益 ま た は 損 失 ()	533	329	204
四 半 期 純 利 益	13,130	4,538	8,592

セグメント別 売上高・営業利益

(単位:百万円)

部 門		当第1四半期	前第1四半期	増 減
		[17. 1.1から 17.3.31まで]	[16. 1.1から 16.3.31まで]	
石 油 化 学	売上高	66,692	56,279	10,413
	営業利益	5,254	3,433	1,821
化 学 品	売上高	19,595	18,948	647
	営業利益	1,328	477	851
電 子 ・ 情 報	売上高	29,782	26,027	3,755
	営業利益	3,534	3,740	207
無 機 材 料	売上高	14,386	12,681	1,705
	営業利益	1,959	1,163	796
アルミニウム他	売上高	59,790	54,422	5,368
	営業利益	2,007	3,028	1,021
共 通 ・ 本 部	売上高	-	-	-
	営業利益	1,590	1,704	114
計	売上高	190,245	168,357	21,889
	営業利益	12,492	10,137	2,355